

コンピュータを用いた資料組織演習の 授業展開とその評価

—Biblas for Windows CD-ROM 版を利用して—

河村 芳 行

0. はじめに

図書館法施行規則第4条の改正に伴い、平成9年4月より図書館司書課程科目が新カリキュラムになり整理関係科目名及び単位数も変更された。旧施行規則時の資料目録法演習(1単位)と資料分類法演習(1単位)を統合し、新施行規則では「資料組織演習(2単位)」、講義科目である資料目録法(2単位)と資料分類法(2単位)を統合し、「資料組織概説(2単位)」とした。

一方で、文部省生涯学習局長通知(文生学180号平成8年9月6日付)における資料組織演習の「内容とねらい」では、①目録記入・資料分類・件名目録作成の実際、②書誌ユーティリティ利用の実際、③データの収集と編集、データの入力・加工などが挙げられており、書誌ユーティリティ利用を前提としたコンピュータ目録の演習を通じて実践的な能力の養成を図ることを示唆している。

これは、旧施行規則時には目録法、分類法それぞれに理論科目と演習科目を対峙させていたものを新施行規則では整理関係の理論科目と演習科目

を横軸に統合することにより、現在の図書館がおかれているコンピュータネットワーク環境における今後の書誌ユーティリティ利用を強く意識した上での理論科目の単位半減と捉えることができよう。

そこで今年度、資料組織演習用教材として学術情報センターのNACSIS-CAT¹⁾を疑似体験させる「BIBLAS For WINDOWS CD-ROM版²⁾を導入し、カード目録に換えてコンピュータ目録演習を実施した。本稿では、実施例を示すと共に演習上の留意点・改善点を報告する。

1. 資料組織演習(目録法)の実施概要

表1-1は演習を進めるにあたっての授業計画(シラバス)を示したものである。

図書館での目録作成業務は書誌ユーティリティを利用したコピーカタログギングが主流となりつつあり、カード目録学習の不要論も聞かれる。しかし、相当数の図書館では未だにコンピュータ目録導入以前のカード目録が凍結されて残っており、併用利用している館も少なくない。現代のような過渡的な時代においては情報検索の一手段としてカード目録をも検索でき、検索したカード目録の目録記述を正確に読みとり、求める資料を的確に探せる知識を修得させておくことも必要であろう。また、ISBD区切り記号法³⁾を使つての書誌的事項⁴⁾のカード目録への記入は、目録の「記述」部を理解させる上で有効であることから演習システムBIBLASの「カード目録演習」を使用し、パソコン上でのカード目録の作成と利用を前半に演習することとした。すなわち、この前半の演習は①記述の単位と順序、②書誌記述の情報源、③書誌的事項と記述の順序、④記述の精粗、⑤第2水準改行方式による記述、⑥ISBD区切り記号法などについての理解に重点を置いた演習である。

後半は、日本の代表的な書誌ユーティリティである文部省学術情報センター(NACSIS)の総合目録所在情報データベース(NACSIS-CAT)の目

録作成環境に準拠した BIBLAS の「基礎演習」を使用し、①書誌データの検索・同定、②データ入力やリンク形成、③書誌登録、④所蔵登録（所

表 1-1 授業計画表

A. カード目録演習	
第 1 回	①記述の単位と順序 ②書誌記述の情報源 ③書誌的事項と記述の順序 ④記述の精粗 ⑤第 2 水準改行方式による記述
第 2 回	① ISBD 区切り記号について ②演習システム Biblas (カード目録演習) の起動と終了の仕方 ③コンピュータを使用してのカード目録演習
第 3 回	①カード目録演習 演習 2, 演習 3, 演習 4
第 4 回	①カード目録演習 演習 5, 演習 6, 演習 8, 演習 11
第 5 回	①カード目録演習 演習 12, 演習 13, 演習 17, 演習 19 ②カード目録の提出方法
B. NACSIS-CAT 目録演習 (BIBLAS)	
第 6 回	①書誌ユーティリティ (NACSIS-CAT) での目録作成について ②システムコマンドの説明 ③NACSIS-CAT ビデオ鑑賞 (目録情報の基準)
第 7 回	①Biblas (書誌ユーティリティ活用基礎演習) の起動と終了の仕方 ②コンピュータ目録演習 演習和図書 1, 2 の所蔵登録演習
第 8 回	①コンピュータ目録演習 演習和図書 3, 4, 5 の所蔵登録演習 ②コンピュータ目録演習 演習和図書 6 による JP 書誌の書誌流用入力
第 9 回	①コンピュータ目録演習 演習和図書 7 による JP 書誌の書誌流用入力 ②コンピュータ目録演習 演習和図書 8 による TRC 書誌の書誌流用入力 ③コンピュータ目録演習 演習和図書 9 による NC 書誌からの書誌流用入力
第 10 回	① NACSIS-CAT フィールド名及び、記述方法について ②コンピュータ目録演習 演習和図書 10 による書誌新規入力
第 11 回	①コンピュータ目録演習 演習和図書 11 による書誌新規入力 ②コンピュータ目録演習 演習和図書 12, 13 によるフィールドの追加演習
第 12 回	①目録の排列演習 (著者、タイトル、分類、件名) ② OPAC 検索演習 ③冊子体目録形式での課題の提出方法
第 13 回	①各自図書を持参しての書誌新規作成、書誌登録、所蔵登録

蔵リンク形成)、といった一連の流れを実際にコンピュータ操作を通じて演習することにより書誌ユーティリティを活用した目録作成の仕組みを理解し、修得することをねらいとした。すなわち、後半の演習は参加図書館間での共同分担目録方式によるデータベースの作成やその利用のあり方についての理解に重点を置いた演習であり、現在の図書館界の趨勢からこちらの方の時間配分を多く構成した。

なお、この演習システムには、①和図書目録登録、②洋図書目録登録、③和雑誌目録登録、④洋雑誌目録登録が用意されているが、和図書・和雑誌には「日本目録規則1987年版改訂版 (NCR1987R)」が、洋図書・洋雑誌には「英米目録規則第2版 (AACR2)」が適用されるように、多くのことを扱うことは受講生の混乱をまねくことにつながると思われることから本演習では和図書の目録作成に限定して実施した。

2. NACSIS-CAT と演習システムの環境

2-1 NACSIS-CAT の目録作成環境

図2-1は書誌検索から所蔵登録までの流れを示したものであり、NACSIS-CATにおける目録作成は大きく分けて4つのパターンに分けられる。以下にそれぞれのパターンについての操作手順を示す。

1) NC 書誌にヒットした場合

ア) 情報源と書誌事項を比較した結果両者が合致する場合 (すぐに所蔵登録) (例: 演習和図1, 2, 3, 4, 5)

→ REGister コマンドで所蔵登録 → SAve コマンドで保存

イ) 自館用にデータの修正や追加をしたり、親書誌とのリンクを形成する等の編集を必要とする場合 (NC 書誌データの修正)

Copy コマンドで書誌流用入力 (NC 書誌の複写) → 修正や追加を

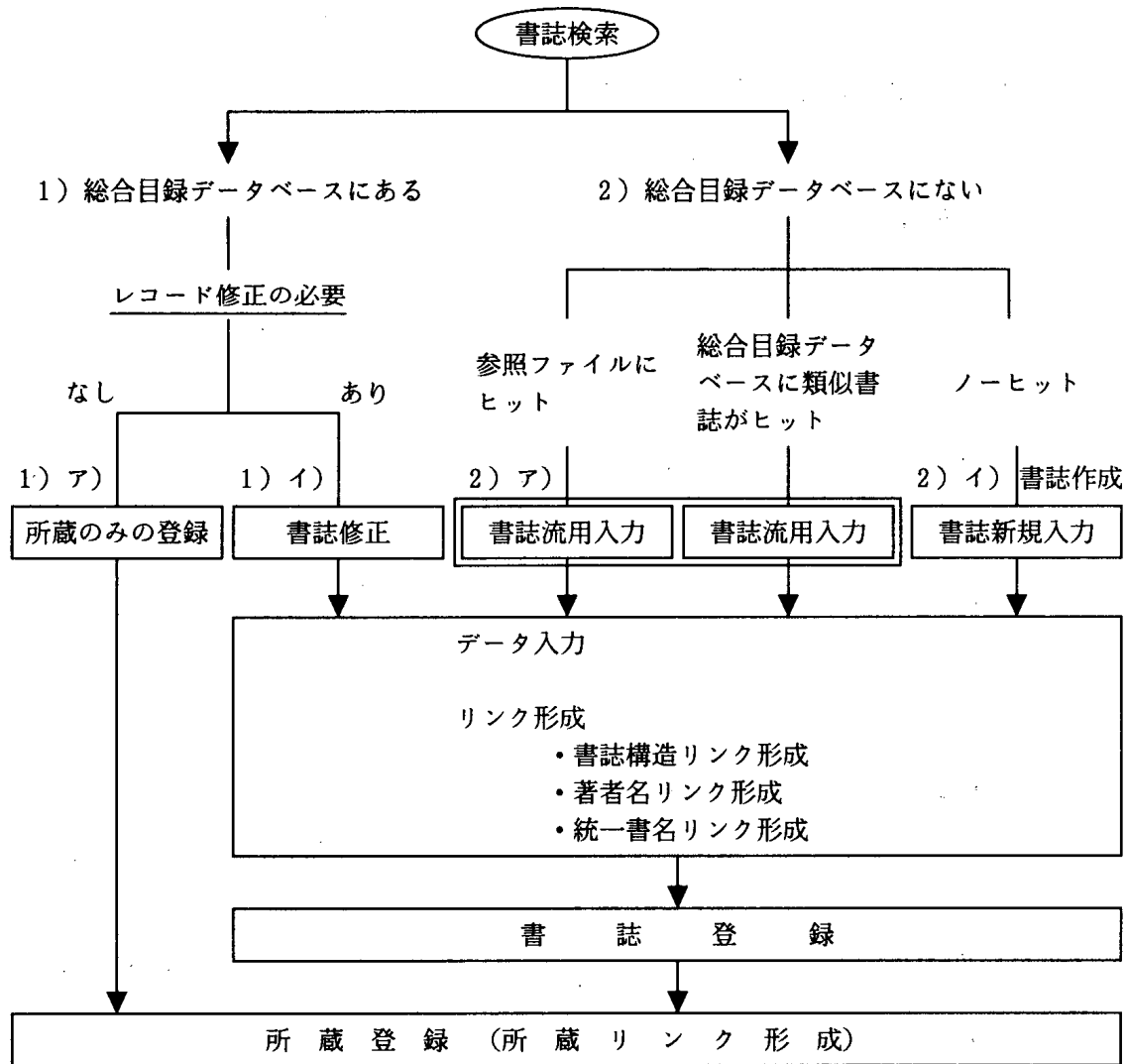


図 2-1 所蔵登録までの流れ

行う。あるいは、Linkto コマンドでリンクを形成（親書誌・著者典拠ファイル・統一書名とのリンク付け）を行う。（例：演習和図9）

→ REGister コマンドで所蔵登録 → SAve コマンドで保存

（手順）

- ①自館用にデータの修正や追加を行ったり、フィールドの追加・削除・拡張などを行いたい場合は、書誌詳細画面で Copy コマンドをクリックする。

→ 書誌流用入力画面に書誌データが複写される。

②自館用にデータの修正や追加が必要であればここで行う。

(また、親書誌とのリンクを形成する必要がある場合は、ここで Linkto Parent コマンドを実行する。)

③一連の編集作業が終了したら、REGister コマンドで所蔵登録を行う。

→ 所蔵新規作成画面が表示される。

④自館の所蔵データ (LOC: 保管場所、CLN: 請求記号、RGTN: 登録番号など) を入力し、SAve コマンドで保存を行う。

→ 自館が所有する当該書誌が学術情報センターに登録され、所蔵登録が完了する。

なお、コマンドは大文字で示した部分の省略形を使用することも可能であるが、演習ではコマンド入力欄に正規の形での入力を指導した。

2) NC 書誌にヒットしない場合

ア) NC 書誌にヒットしないが、JP・TRC・US・UK などの参照 MARC⁹⁾ にヒットした場合 (書誌流用入力) (例: 演習和図 6, 7, 8)

→ CReate コマンドで書誌新規作成 → REGister コマンドで所蔵登録

→ SAve コマンドで保存

(手順)

①NC 書誌はヒットしないが JPMARC などの参照 MARC にヒットした場合には、情報源 (図書など) と比較し、該当する書誌データを選択する。 → 書誌詳細画面に移行する。

②CReate コマンドで書誌新規作成を行う。

→ 書誌新規作成画面 (書誌流用入力画面) が表示される。

③書誌データの修正や追加を行い、再度情報源と比較確認し、間違いがなければ REGister コマンドで所蔵登録を行う。

④SAve コマンドで保存する。

イ) 検索の結果、何もヒットしない場合 (書誌新規作成)

(例: 演習和図10)

- CReate コマンドで書誌新規作成 → REGister コマンドで所蔵登録
- SAve コマンドで保存

(手順)

- ①検索したところ、「指定された検索条件での検索結果は 0 件です」というメッセージが表示されたら、CReate コマンドで書誌新規作成を行う。
 - 検索条件で指定したキー以外のフィールドすべてが空欄になっている「書誌新規入力画面」に移行する。
- ②各フィールドに必要なデータを入力し、書誌を作成する。
- ③必要に応じて親書誌 (Linkto Parent コマンドを実行) や著者典拠 (Linkto Author コマンド)、統一書名 (Linkto Uniform コマンド) とのリンクを形成する。
 - リンク先が良ければ、CHoose コマンドで選択を実行する。
- ④REGister コマンドで所蔵登録を行う。
- ⑤SAve コマンドで保存する。

2-2 演習システム BIBLAS の環境

目録演習システム BIBLAS CD-ROM 版は Windows 95/98 がインストールされているパソコンに CD-ROM をセットすることによりスタンドアロン方式で使用することができる。また、以下のような自動起動プログラムが用意されているためインストールの必要はなく、CD-ROM をセットするだけで起動可能である。

[autorun]

open=Biblas¥biblas.EXE

icon=AUTORUN.ICO

本学の場合、スタンドアローンの単体パソコンに一個の CD-ROM ドライブが接続されている環境で演習システムを利用しようとする、立ち上げの際に毎回 Self-Maintenance 機能が働き初期状態に戻すように設定されているため演習の都度インストールを行う必要があったが、この自動起動プログラムによりその手間が省かれた。

演習内容としては、カード目録演習、基礎演習、応用演習の 3 部門で構成され、目録登録機能、目録出力機能、目録検索 OPAC 機能が用意されている。基礎演習では必須のコマンド (Search, Display, Create, Copy, Edit, Linkto Parent, Linkto Author, Choose, Save, Register, Return, Giveup など) を学習するだけで NACSIS-CAT の目録作成環境を疑似体験できるようになっており、受講者のコンピュータリテラシーの程度差や、限られた目録演習時間への配慮がなされていると言える。

3. 本学における実施例

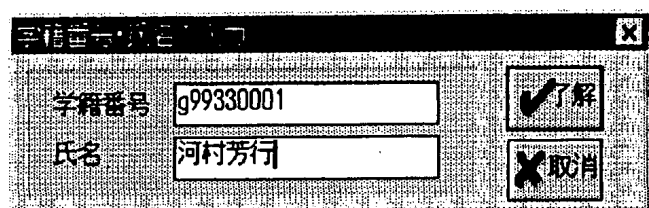
3-1 コンピュータを利用したカード目録演習

BIBLAS の「カード目録演習」を使用し、パソコン上でのカード目録演習を行う。なお、演習問題としては『資料組織演習 (JLA 図書館情報学テキストシリーズ10)』吉田憲一編著 (p119~125) に掲載されている総合目録演習問題の和書に関する問題を 1 講義 3~4 問の割合で進めた。以下に手順を示す。

3-1-1 起動の方法

① CD-ROM をセットすると、Autorun.ico により自動的に Biblas の演習システムが立ち上がり初期画面になる (日本地図の画面)。

② 「カード目録演習」をクリックし、学籍番号欄に各自の学籍番号 (例 g99330001)、氏名欄に各自の名前を入力



し、「レ了解」をクリックする。

→ 業務選択画面（図3-1）になる。

③「1. 和図書カード目録登録」をクリックする。

→ 和図書目録カード演習一覧画面に移行する。

④「新規作成」をクリックすると、和図書カード目録演習画面（図3-2）になる。

⑤情報源をもとに「記述ユニット方式」でカードに書誌的事項を記入する。

カード目録演習では目録規則の標準である第2水準の記述を採用し、改行方式による記述を演習したので「記述ユニット方式でのカード記載例（第2水準）」を示しておくことにする（図3-3）。なお、区切り記号はISBD（International Standard Bibliographic Description：国際標準書誌記述）による。

カード目録は、ア）所在記号、イ）標目、ウ）記述ブロック、エ）標目指示ブロックの4つのブロックから構成されるが、本演習ではウ）の記述ブロックの記入の仕方を中心に行うこととした。

⑥すべての記入が終わったら、「保存」をクリックする。

データの保存、データのロード等のコマンドアイコンをクリックする際には、アクティブ状態のメッセージ表示画面をドラッグして下にあるコマンドアイコンから離れた状態にして行うことにより誤動作を防止することができることを事前に指導したい。

→ 「和図書目録カード演習一覧」に目録データが追加される。

⑦「新規作成」をクリックし、次の課題に進む。

3-1-2 終了の方法

①「和図書目録カード演習一覧」画面で、「終了」をクリックする。

→ 業務選択画面（図3-1）に移行する。

②「99. 業務終了」をクリックする。

- 初期画面（日本地図の画面）に移行する。
- ③3.5インチ FD を挿入して、「個人データの保存」をクリックする。
- ④「フロッピーディスクにデータを保存します」というメッセージに対して「OK」ボタンをクリックする。
- 各自のフロッピーディスクに目録作成したデータが保存され、再び初期画面（日本地図の画面）に戻る。
- ⑤「終了ボタン」をクリックし、「プログラムを終了しますか？」のメッセージに対して「了解」をクリックする。
- Biblas のプログラムが終了し、Windows の初期画面に戻る。
- ⑥フロッピーディスクと CD-ROM を取り出し、[スタート]→[Windows の終了]→「コンピュータの電源を切れる状態にする」のラジオボタンが ON になっている状態で[はい]をクリックする。
- コンピュータの電源が切れる。



図 3 - 1 カード目録業務選択画面

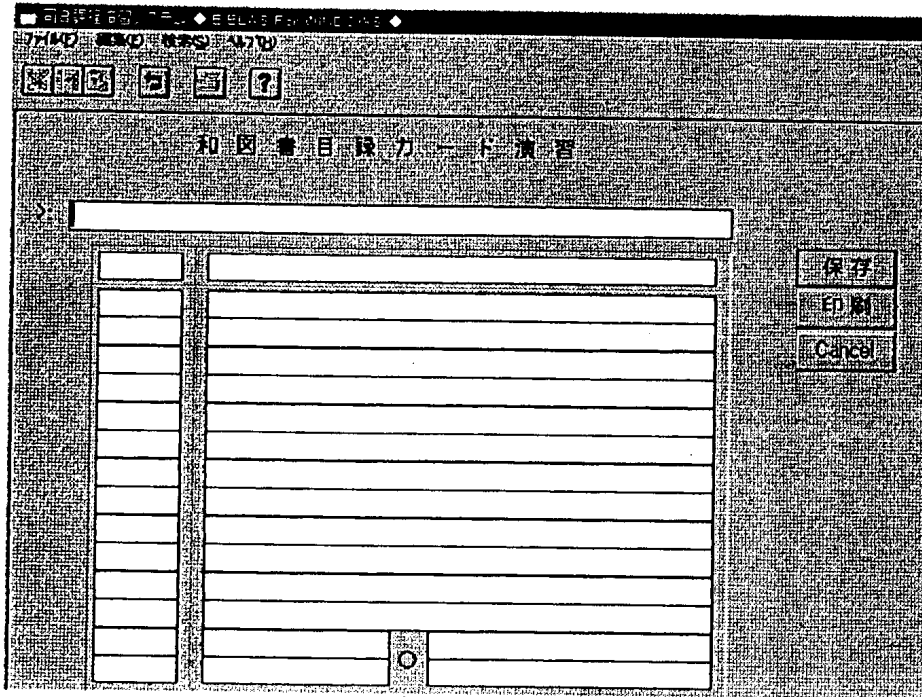


図 3 - 2 和図書カード目録演習画面

和 図 書 目 録 カ ー ド 演 習

>:

分類番号	標 目
著者記号	本タイトル△[資料種別]△:△タイトル関連情報△/△ 責任表示. △-△版表示△/△特定の版にのみ関係する 責任表示*
	資料(または刊行方式)の特性に関する事項*
	出版地または頒布地等△:△出版者または頒布者等, △ 出版年または頒布年等*
	特定資料種別と資料の数量△:△その他の形態的細目△ ;△大きさ△+△付属資料. △-△(本シリーズ名△/ △シリーズに関する責任表示, △シリーズのISSN△;△ シリーズ番号. △下位シリーズの書誌的事項)*
	注記*
	標準番号
	f1. タイトル標目 a1. チョシヤ, △ヒョウモク
	s1. 件名標目 ①分類標目

図 3 - 3 第 2 水準、改行方式の記述 (*印ごとに改行する)

3-1-3 2回目以降の起動手順

- ①CD-ROM をセットすると自動的に Biblas の初期画面になる。
- ②各自のフロッピーディスクを挿入し、「個人データのロード」をクリックする。
- ③「フロッピーディスクからデータをロードします」というメッセージに対して「OK」をクリックする。 → データのロードが始まり、終了後、初期画面（日本地図の画面）に戻る。
- ④「カード目録演習」をクリックする。
- ⑤業務選択画面になるので「1. 和図書カード目録登録」をクリックする。
→ 和図書目録カード演習一覧画面に移行する。
- ⑥「新規作成」をクリックすると、和図書カード目録演習画面になるので出題された課題に取りかかる。

3-1-4 カード目録の提出

与えられた演習課題を終えると第5回目までには「和図書目録カード演

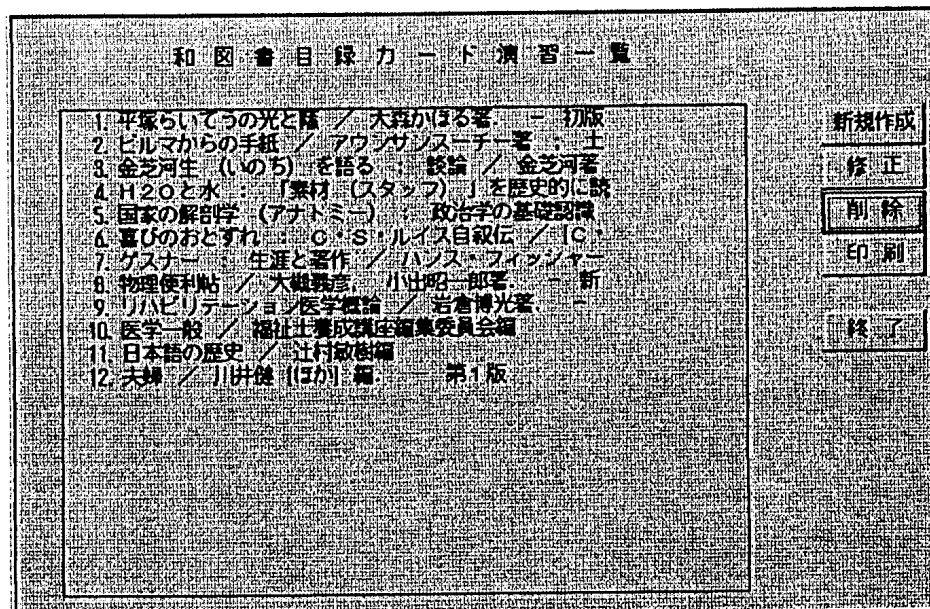


図3-4 和図書目録カード演習一覧

習一覧」に、12件の目録が登録されているはずである（図3-4）。3番目の「金芝河生を語る」、8番目の「物理便利帖」、10番目の「医学一般」の3件を選択してプリントアウトして提出させる。

（手順）

- ①「和図書目録カード一覧」の画面で[印刷]ボタンをクリックする。
→ プリンタの設定画面になる。
- ② [印刷の向き]が「縦」、[用紙サイズ]が「A4」になっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックする。
→ 印刷範囲設定画面になる。
- ③ [番号指定]のラジオボタンをONにして、印刷したい目録番号を「3, 8, 10」のように半角英数字で入力し、[OK]ボタンをクリックする。
→ 近くのプリンタから印刷される。

3-2 BIBLASを利用したNACISIS-CAT目録演習

前項で示したように4つのパターンがあるが、ここではNC書誌にもヒットせず、さらに参照ファイルにもヒットしない場合の書誌新規作成例を用い、一連の流れを示す。なお、図書目録演習課題情報源（表題紙、奥付など目録規則の規定の情報源および目録記述に必要な書誌的事項を付記してある）をもとに書誌データの入力を行うが、ここで扱う課題の情報は①書名：「書誌ユーティリティ」、②副書名：「新たな情報センターの誕生」、③シリーズ名：「図書館員選書・18」、④著者：「上田修一^{ウエダシュウイチ}」、⑦出版地：「東京」、⑧出版者：「日本図書館協会」、⑨出版年月：「1991年9月」、⑩版次：「初版」、⑪頁付：「viii, 223p」、⑫版型：「19cm」、⑬ISBN：「4-8204-9109-1」、⑭定価：「1600円」、⑮注記事項：「各参加館の事例報告：p95-98」であるものとする。

（手順）

- ①CD-ROMをセットすると、Autorun.icoにより自動的にBiblasの演習

システムが立ち上がり初期画面になる（日本地図の画面）。

②各自のフロッピーディスクを挿入し、「個人データのロード」をクリックする。

③「フロッピーディスクからデータをロードします」というメッセージに対して「OK」をクリックする。

→ データのロードが始まり、データの取り込み終了後、初期画面（日本地図の画面）に戻る。

④「基礎演習」をクリックする。

→ 業務選択画面（図3-5）になる。（個人データをロードしたので最初のカード目録演習のときのような学籍番号・氏名等の入力画面は表示されない。）

⑤「1. 和図書目録登録」をクリックする。

→ 和図書書誌検索・簡略表示画面（図3-6）になる。

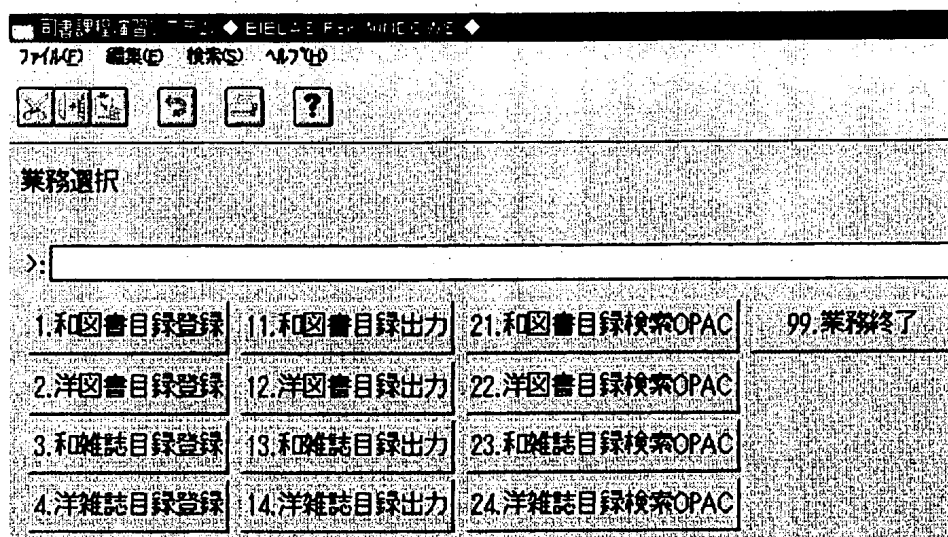


図3-5 業務選択画面

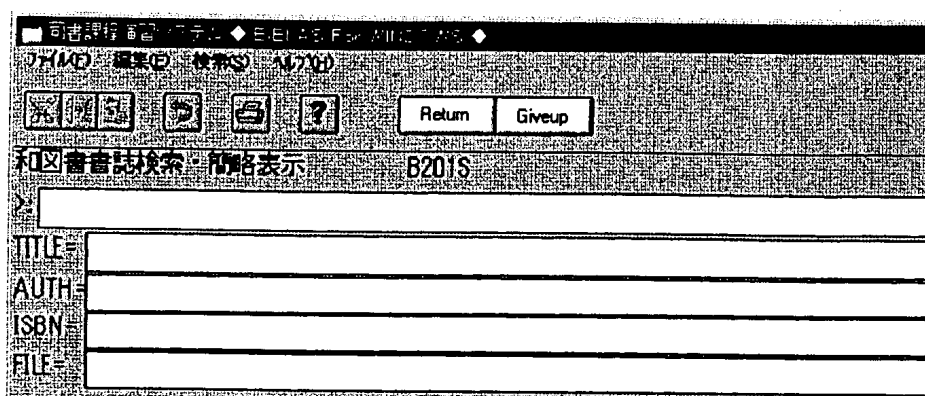


図 3 - 6 和図書書誌検索・簡略表示画面

⑥「和図書書誌検索・簡略表示」画面で、ISBN の欄に当該図書の ISBN 番号「4-8204-9109-1」を入力し、Enter キーを押す。(ISBN は「-」ハイフンを省略して入力しても同じ。)

→ 検索の結果、「検索結果は 0 件です」と表示される。

検索の方法にはいろいろあるが、ここではまず ISBN を用いて検索させている。ISBN (International Standard Book Number : 国際標準図書番号) は国際的な標準の一つとして、一書名、一版次を単位として割り当てられるアラビア数字10桁の番号であり、書誌を特定するような検索の場合には有効な手段である。しかし、印刷の時点での誤植や書誌登録の時点での誤入力などの原因により実際には NC 書誌として存在する図書が検索されないという可能性もある。ISBN による検索で NC 書誌にヒットしなかったような場合には、書名や著者名などによる書誌を特定しやすい別の検索キーを用いた検索を再度行い、重複書誌を作成しないように細心の注意を払う必要があるということを指導したい。

和図書目録検索では NC 書誌にヒットしないとき①NC 書誌→②JP 書誌→③TRC 書誌の優先順位でファイル検索が行われる。この演習では ISBN 検索の結果 NC 書誌も何もヒットしない。上記の理由で検索漏れを起こしているかも知れないので、書名のヨミ検索に「ショシ」と「ユーティリティ」の2つのキーワードを用い、著者のヨミ検索として「ウェ

ダ」を用いて、二項目間の論理積検索（AND 検索）を行わせている。

⑦ISBN でヒットしないので、「和図書書誌検索・簡略表示」画面で、今度は書名のヨミ検索としてTITLE（タイトル）の欄に「ショシ△ユーティリティ」という2つのキーワードによる論理積検索式を入力し、AUTH（著者）の欄に「ウエダ」と入力し、Enter キーを押す（図3-7）。

キーワードは半角でも全角でも検索は可能であるが、半角で入力する習慣をつけさせると共に、「ワカチガキのゆれ」を意識して検索するよう指導する。なお、△は半角スペースを示す。

→ やはり検索の結果、「検索結果は0件です」と表示される。

（NC 書誌にも参照 MARC にも存在しないということである。）

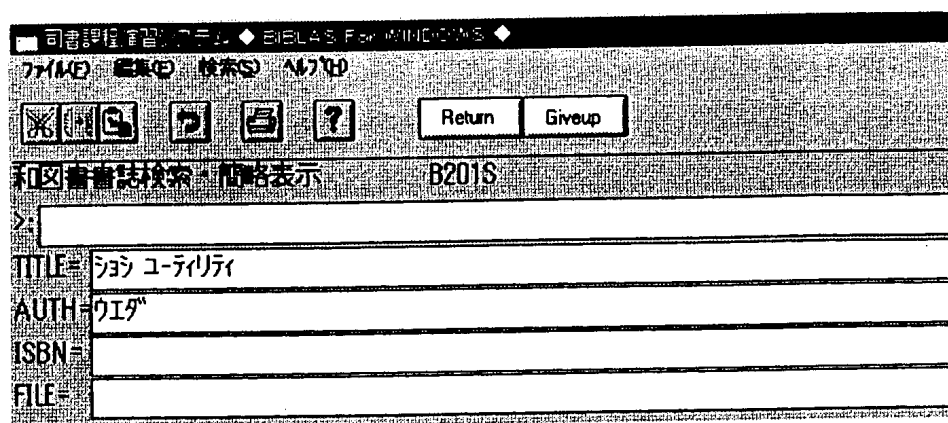


図3-7 検索キーの入力

⑧こういった場合には、「検索結果は0件です」と表示されている「和図書書誌検索・簡略表示」画面のコマンド入力欄（上方の空欄）に CREATE（書誌新規作成コマンド）と入力し、Enter キーを押す（図3-8）。

→ 和図書書誌新規入力画面に移行する。

画面は項目タグだけで検索に使用したキーワード以外のデータは何も入力されていない状態であるが、手元の情報源を参考に⑨～⑳の手順で必

須項目のフィールドすべてに必要なデータを入力する。

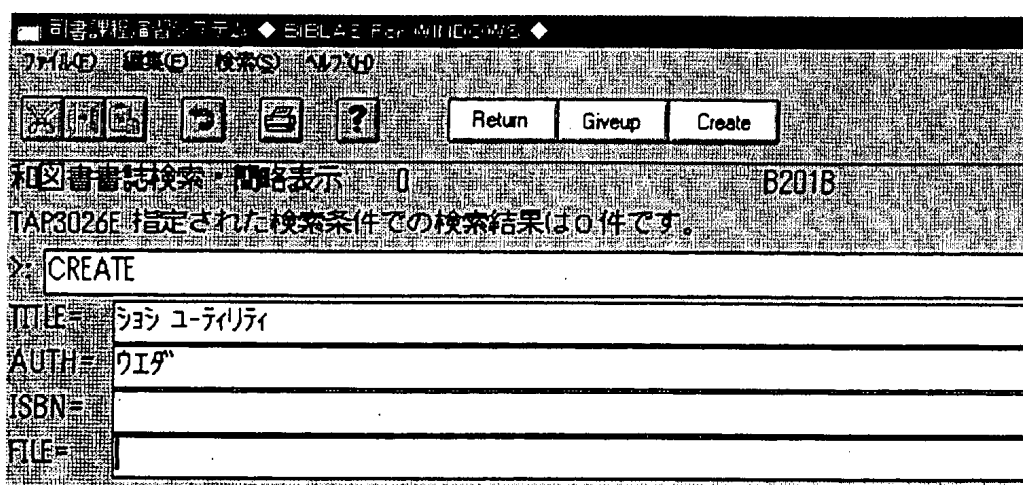


図3-8 書誌新規作成コマンドCREATEの実行

- ⑨コードブロックの YEAR (=Year of Publication : 刊年) フィールドに出版年を「1991」と入力し、TAB キーを押す。
(TAB キーを押すと次の項目欄にカーソルが移動する。マウスを使ってカーソルを該当項目欄へ直接移動することも可能である。)
- ⑩コードブロックの CNTRY (=Country Code : 出版国コード) フィールドに日本の出版国コード「ja」と入力する。
ちなみに、アメリカ合衆国は「us」、英国は「uk」、ドイツは「gw」、フランスは「fr」であることに言及する。
- ⑪コードブロックの TTLL (=Title Language Code : 本タイトルの言語コード) フィールドに日本語の言語コード「jpn」と入力する。
ちなみに、英語は「eng」、ドイツ語は「ger」、フランス語は「fre」である。これらの言語コードは TXTL フィールドや ORGL フィールドでも使用することに言及する。
- ⑫コードブロックの TXTL (=Title Language Code : 本文の言語コード) フィールドに日本語の言語コード「jpn」と入力する。
- ⑬コードブロックの ISBN (=International Standard Book Number : 国

際標準図書番号)のフィールドに「4820491091」と入力する。

(ISBNの「-」(ハイフン)は省略して入力する。)

- ⑭コードブロックのPRICE (=Price/Terms of Availability : 価格/入手条件)のフィールドに定価を「1600円」と入力する。

ここでは、本体価格ではなく定価を入力することに言及する。

- ⑮記述ブロックのTR (=Title and Statement of Responsibility Area : タイトル及び責任表示に関する事項)のフィールドに入力されている「シヨシ ユーティリティ」を消去して、「書誌ユーティリティ : 新たな情報センターの誕生 / 上田修一著 || シヨシ ユーティリティ : アラタナ ジョウハウ センター ノ タンジョウ」と入力する。

(記述の形式は、「本タイトル△ : △タイトル関連情報△/△責任表示 || 本タイトルのヨミ△ : △タイトル関連情報のヨミ」である。)

ダブルストローク (||) は、f・10キーを押し、シフト JIS 記号表示の中から (||) を選択することによって表示するか、SHIFT キー + ¥ キーを2回押したのち f・10キーを押して表示する。また、(//) は「め」キーを2度押した後、f・10キーを押して表示するなどといった記号の表示方法の指導も必要となる。

- ⑯記述ブロックのPUB (=Publication, Distribution, etc., Area : 出版・頒布等に関する事項)のフィールドに、「東京 : 日本図書館協会 , 1991」と入力する。(記述の形式は、「出版地△ : △出版者△, △出版年」である。)

ISBDでの「出版地△ : △出版者, △出版年」とは出版年の前にコンマ、スペース (, △) ではなく、スペース、コンマ、スペース (△, △) を置く点が異なることに言及する。

- ⑰記述ブロックのPHYS (=Physical Description Area : 形態に関する事項)フィールドに「viii, 223p ; 19cm」と入力する。

(記述の形式は、「前ページ, △本ページ△ : △挿図△ ; △大きさ△ +

△付随資料」である。)

前ページをアラビア数字に直している書誌も見受けるが、「区別のために用いられているローマ数字はそのまま記録する (NCR1987R2.5.1.2 別法2)」もあることに言及する。

- ⑱記述ブロックの NOTE (=Note: 注記) フィールドに、「各参加館の事例報告: p95-98」と入力する。

(記述の形式は、「導入語: △」である。)

- ⑲リンクブロックの PTBL (=Parent Bibliography Link: 書誌構造リンク) のフィールドに親書誌のタイトルであるシリーズ名を「図書館員選書〈〉」と入力する。

(記述の形式は、「親書誌タイトル△/△責任表示 || 親書誌タイトルのヨミ△〈親書誌レコードID〉」である。)

注意点は、〈〉は半角でシリーズ名との間は半角スペースである。多くの受講生が LINKTO PARENT (親書誌とのリンク形成コマンド) を実行後、和図書書誌・簡略表示画面で「TAP3026E 指定された検索条件での検索結果は0件です」と表示されていた。もし、そのようになってしまった場合には CREATE コマンドを実行し「和図書書誌新規入力画面」に戻り、書誌データの再入力を行うよう指導したい。RETURN コマンドを実行すると「業務選択画面」にまで戻ってしまうことに注意を要する。

- ⑳リンクブロックの AL (=Author Link: 著者名リンク) のフィールドに、著者標目形と著者標目形のヨミを「上田, 修一 || ウエダ, シュウイチ〈〉」と入力する。

(記述の形式は、「姓, △名 || 姓のヨミ, △名のヨミ△〈著者名典拠レコードID〉」である。)

本来であれば、コマンド入力欄に LINKTO AUTHOR (著者典拠データとのリンク形成コマンド) と入力し、Enter キーを押すことにより、

システムが自動的に著者典拠データを検索し、著者典拠データの表示画面に移行し、CHOOSE コマンドを実行すると書誌データの和図書書誌詳細表示画面に戻り著者典拠データの ID 番号が反映されるが、この演習システムでは著者典拠作業の演習は「応用演習」で行うようになっているのでここでは行わないことに言及する。

②書誌データの入力 (④～⑳) が完了したら、正しく入力されているかどうかを手元の情報源とよく確認し、間違えがなければコマンド入力欄に LINKTO PARENT (親書誌とのリンク形成コマンド) と入力し、Enter キーを押す (図 3-9)。

→ NC 書誌「図書館員選書」が自動的に検出され、和図書書誌詳細表示画面に表示される (図 3-10)。

図 3-9 親書誌とのリンク形成コマンド LINKTO PARENT の実行

②作成対象の資料『書誌ユーティリティ：新たな情報センターの誕生』の集合書誌単位（シリーズ）が、ヒットしたNC書誌「図書館員選書」であることを確認した後、コマンド入力欄に CHOOSE（選択コマンド）と入力し、Enter キーを押す（図3-10）。

→ もとのNC書誌『書誌ユーティリティ：新たな情報センターの誕生』に戻る（図3-11）。

PTBL フィールドが「図書館員選書 || トショカンイン センショ <BN07632755>」のようになり〈〉となっていた箇所にく親書誌レコードID〉がシステムにより自動的に埋め込まれていることを確認させる。

③正しく入力されているかどうかをもう一度手元の情報源とよく確認し、間違いがなければコマンド入力欄に REGISTER（所蔵登録コマンド）と入力し、Enter キーを押す（図3-11）。

→ 和図書所蔵新規入力画面に移行する。

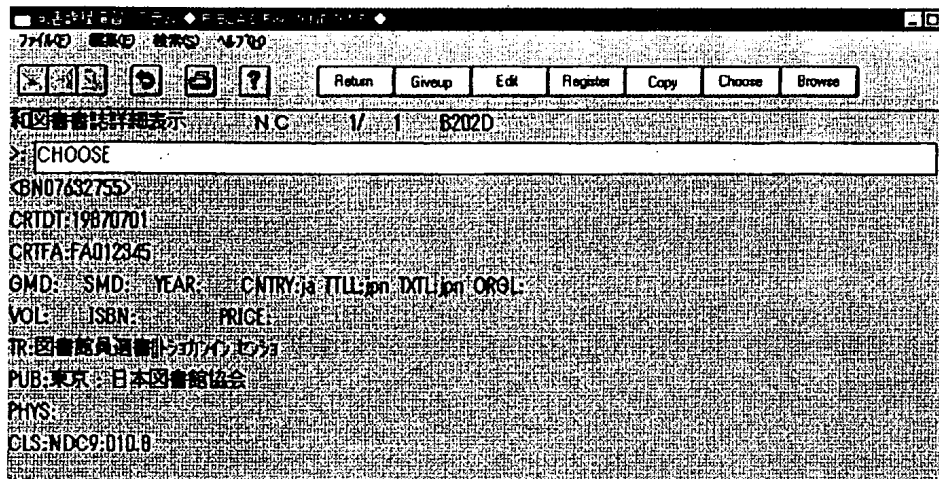


図3-10 選択コマンド CHOOSE の実行

REGISTER

BA1000011

GND: SMD: YEAR: 1991 CTRY: ja ILL: jp IXL: jp ORGL: REPRO:

VOL: ISBN: 4820491091 PRICE: 1600円 NBN: NDLCN: GPON:

OTHN: スペースコンスペース スペーススラッシュスペース カツムシロク スペースコンスペース

TR: 書誌ユーリテイ: 新たな情報センターの誕生 / 上田修 著 ユーリテイ: アラナラボのセンター / タラジヨ

ID: スペースコンスペース スペースコンスペース

IIB: 東京: 日本図書館協会, 1991

PHYS: 6, 223p, 19cm

V: スペースコンスペース

SV:

AOT: 各参加館の事例報告 p95-98

IRL: 図書館員選書 / ショカイン セラヌ (BN07632755)

AL: 上田, 修 / イダ, シウイ

UTL:

CIS:

SH:

図 3-11 所蔵登録コマンド REGISTER の実行

④配置コード「LOC:」の欄に「本館」、登録番号フィールド「RGTN:」の欄に課題登録番号「WT0010」を入力し自館の所蔵データを作成する(図 3-12)。

BA1000011 書誌ユーリテイ: 新たな情報センターの誕生 / 上田修 著 -- 日本図書館協会 : 1991 -- (図書館員選書)

FA012345 北海道武蔵女子短期大学

CC0000000001

LOC: 本館

VOL: CLN: RGTN: WT0010 CPYR:

CPYNT:

LDF:

LTR:

図 3-12 保存コマンド SAVE の実行

②⑤入力が完了したら、コマンド入力欄に SAVE (保存コマンド) と入力し、Enter キーを押す (図 3-12)。

→ NC書誌として登録されると共に、画面下に所蔵登録の終了した書誌が新しい書誌 ID が自動付与された状態で簡略表示される。

4. 各項目のデータ記入例と入力レベル

図書書誌レコード、及び図書所蔵レコードに関する各レコード項目のデータ入力レベル、内容、記述規則の概要、並びに記述例を受講生指導用に示すと共に、日本目録規則1987年版改訂版の区切り記号との相違点をまとめておくことにする。なお、各レコード項目のデータ入力レベルの略語の内容は次のとおりである。

S : 自動付与 (System-supplied) データ記入はシステムが自動的に行う。

目録担当者がデータ記入を行うことはありえない。

C : センターのみ (NACSIS only) データ記入は学術情報センターのみが行う。

目録担当者はデータ記入を行ってはならない。

M : 必須 1 (Mandatory) 目録担当者は必ずデータ記入を行う。

A : 必須 2 (Mandatory if applicable or readily available) 目録担当者は適用可能な情報、または容易に入手可能な情報が存在する場合、常にデータ記入を行う。

O : 各参加組織は目録登録業務方針として、データ記入を行うかどうかの選択を行う。目録担当者は自参加組織の方針に従って、データ記入を行う (又は行わない)。

U : 不使用 (Unused) 目録担当者はデータ記入を行ってはならない。

4-1 NACSIS-CAT フィールド名 (図書書誌レコード)

1) コードブロック (GMD~OTHN)

GMD:	SMD:	YEAR:	1991	CNTRY:	ja	TLL:	jpn	IXL:	jpn	ORGL:		REPRO:	
VOL:		ISBN:	4B20491091	PRICE:	1600円	ISBN:							
ISSN:		NBN:		NDIGN:		OPON:							
OTHN:													

(△は半角のスペースを示す。)

画面項目名 (データ要素) データ記入及び表示例	入力レベル	
	子書誌	親書誌
① GMD(=General Material Designation Code : 一般資料種別コード) 目録対象資料が属する媒体を示す1桁のコード。図書資料には使用しない。 → GMD:v (ビデオディスク), GMD:s (コンパクトディスク), GMD:w (CD-ROM)	A	O
② SMD(=Specific Material Designation Code : 特定資料種別コード) 目録対象資料が属する特定の種類 (主に物体としての種類) を示す1桁のコード。図書資料には使用しない。 → GMD:a△SMD:j (地図資料), GMD:h△SMD:e (マイクロフィッシュ)	O	O
③ YEAR(=Year of Publication : 刊年1 △刊年2) 出版・頒布等の日付に対応する年 (PUBフィールドにある出版年) を西暦で記録する。 刊年1には、主たる出版・頒布等の日付を記録する。 PUB:東京△:△東京書籍△,△2000.5 → YEAR:2000 PUB:札幌△:△北海道立近代美術館△,△c1999 → YEAR:1999 刊年2には、出版・頒布等の日付が複数にわたる場合の刊行終了年を記録する。 PUB:東京△:△現代思潮社△,△1985-1992 → YEAR:1985△1992	A M A	O M A
④ CNTRY(=Country Code : 出版国コード) 最初の出版地・頒布地等 (PUB) に対応する出版国コードを記録する。(日本→ja アメリカ合衆国→us 英国→uk ドイツ→gw フランス→fr) PUB:東京△:△日本図書館協会△,△1998.7 → CNTRY:ja	A	O
⑤ TTLL(=Title Language Code : 本タイトルの言語コード) 本体タイトル (TR) の言語に対応する3桁のコードを記入する。 (日本語→jpn 英語→eng ドイツ語→ger フランス語→fre) TR:学術情報と図書館△/△永田治樹著 がクゾ ッツ ジョウホリ ト トヨカン → TTLL:jpn	M	M

コンピュータを用いた資料組織演習の授業展開とその評価

<p>⑥ TXTL(=Text Language Code : 本文の言語コード) 本文の言語に対応する3桁のコードを記入する。 (日本語→jpn 英語→eng ドイツ語→ger フランス語→fre) → TXTL:jpn (本文が日本語のみ)</p>	M	M
<p>⑦ ORGL(=Original Language Code : 原本の言語コード) 翻訳等の原本の言語に対応する言語コードを記録する。(重訳の場合は直接の翻訳対象となったテキストの言語。) → TXTL:jpn ORGL:eng</p>	O	O
<p>⑧ REPRO(=Reproduction Code : 複製コード) 目録対象資料が複製資料であれば「c」を記入する。複製でない場合には、何も記入しない。 TR:日本百科大辞典 ニホン ヒョッカ ダイジテン ED:復刻版 → REPRO:c</p>	A	A
<p>⑨ VOL(=Volumes : 巻冊次等) 出版物理単位の巻冊次等及び製本種別等の説明語句を記録する。 → VOL:上 VOL:中 VOL:下 → VOL:天 VOL:地 → VOL:あ〜こ VOL:さ〜と VOL:な〜ん → VOL:IV-2</p>	A	A
<p>⑩ ISBN(=International Standard Book Number : 国際標準図書番号) 目録対象資料に付与されているISBNのうち、VOLフィールドに記録されている巻冊次、説明語句に対応する番号のみを記録する。 → 4820491091 (「-」ハイフンは記入しなくてもよい。)</p>	A	A
<p>⑪ PRICE(=Price/Terms of Availability : 価格/入手条件) 定価等の入手条件を記録することができる。最新の定価を記録する。 → PRICE:1600円 (定価が1600円、本体価格が1524円の場合)</p>	O	O
<p>⑫ XISBN(=Extra ISBN : 取消/無効ISBN) 目録対象資料にかかわる無効ISBN(番号が不正)、取消ISBN(何らかの理由で新しいISBNが付与されたため使用されなくなった以前の刷次のISBN)等 ア) 無効ISBN(番号が不正)の記入例 → VOL: ISBN: PRICE:2500円 XISBN:4882825117 イ) 取消ISBN(ISBNが複数ある場合)の記入例 (最も値が大きいものをISBNフィールドに記録し、残りはXISBNフィールドに記録する。) → VOL: ISBN:4260351702 PRICE:1200円 XISBN:4260351028</p>	A	A
<p>⑬ ISSN(=International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) → 雑誌で使用。</p>	A	A

⑭ NBN(=National Bibliography Number : 全国書誌番号) 目録対象資料の出版国における全国書誌番号を記録する。和図書であれば、国立国会図書館が付与した番号 (JP 番号) を記入する。 → NBN : JP69000001	A	A
⑮ NDLCN(=National Diet Library Card Number : NDL カード番号) 目録対象資料にかかわる NDL 印刷カード番号のうち、「国図番号」を記入することができる。冒頭の「国図」という記号は省略する。 → NDLCN : 71000831	O	O
⑯ GPON(=Government Printing Office Item Number : GPO 番号) 米国政府印刷局 (GPO) 刊行物管理番号を記入することができる。 → GPON : 654	O	O
⑰ OTHN(=Other Numbers : その他の番号) 各種の標準番号のうち、他の箇所に記録されない番号を記録することができる。形式は、「番号の種類 : 番号」である。 → NBN : JP89020632 OTHN : JLA : 89003067 (JLA 番号) NBN : JP80017429 OTHN : LCCN : 80811229 (LC カード番号)	O	O

2) 記述ブロック (TR~NOTE)

TR:	書誌ユーティリティ : 新たな情報センターの誕生 / 上田修一著 ユーティリティ : アラナジヨウのセンター
ED:	
PUB:	東京 : 日本図書館協会, 1991
PHYS:	viii, 223p ; 19cm
VI:	
CW:	
NOTE:	各参加館の事例報告: p95-98

画面項目名 (データ要素) データ記入及び表示例	入力レベル	
	子書誌	親書誌
① TR(=Title and Statement of Responsibility Area : タイトル及び責任表示に関する事項) タイトル及び責任表示に関する事項を記録する。 [日本目録規則1987年版改訂版の区切り記号の採否] 1.1.0.2 (区切り記号法) の採否 ア) は不採用とし、資料種別はGMDフィールド、SMDフィールドに記録する。 イ) は採用する。 ウ) は不採用とし、部編や付録については「目録情報の基準第3版」(→4.2.3[解説(「固有のタイトルでないもの」と書誌単位)])に規定されているタイトルの範囲に従う。	M	M

コンピュータを用いた資料組織演習の授業展開とその評価

エ) の条文中のピリオド、スペース (.△) は、スペース、ピリオド、スペース (△.△) として採用する。(.△ → △.△)		
オ) は採用する。		
カ) は採用する。		
キ) は採用する。		
ク) は採用する。		
すべての例示から資料種別を省略する。また、2番目の例示 (共通タイトル△部編のタイトル△[資料種別]△/△責任表示) は不採用とする。		
①-a 本タイトル	M	M
①-b タイトル関連情報	A	A
①-c 並列タイトル (和書)	O	O
並列タイトル (洋書)	A	A
最初の並列タイトル	M	M
2番目以降の並列タイトル	O	O
並列タイトル関連情報	O	O
①-d 責任表示	A	A
最初の責任表示	M	M
並列責任表示	O	O
タイトルのヨミ	A	A
タイトル関連情報のヨミ	A	A
並列タイトルのヨミ	O	O
→ 本タイトル△:△タイトル関連情報△/△責任表示 本タイトルのヨミ△:△タイトル関連情報のヨミ		
→ TR:書誌ユーティリティ:新たな情報センターの誕生 / 上田修 一著 ヨンユーティリティ:アマガゾウホクセンター / アマガゾウ		
② ED (= Edition Area : 版に関する事項)	A	A
版に関する事項を記録する。		
[日本目録規則1987年版改訂版の区切り記号の採否]		
1.2.0.2 (区切り記号法) は、これを採用する。ただし、ア) のフィールド間の区切り記号については不採用とする。		
②-a 版表示	M	M
②-b 並列版表示 (洋書)	O	O
並列版表示 (和書)	U	U
②-c 版の責任表示	A	A
最初の責任表示	M	M
2番目以降の役割の異なる責任表示	O	O
②-d 付加的版表示	O	O
②-e 付加的版表示の責任表示	O	O
最初の責任表示	M	M
2番目以降の役割の異なる責任表示	O	O

<p>→ 版表示△/△版の責任表示</p> <p>(版に関する責任表示とは、当該資料の一種類以上の版に対しては関係しているが、すべての版に対しては関係していないような責任表示をいう。)</p> <p>→ ED: 第3版△/△志保田務△[改訂]</p> <p>→ ED: 増補版</p> <p>改訂増補版、普及版、保存版、復刻版、私家版、縮刷版、ワイド版、机上版、学生版、必携版、限定版、贈呈版、など。</p> <p>(逐次に刊行されるものの表示「年版」など、及び NCR872.2.1.1A で版表示とするものの範囲に含まれている「新装版」「豪華版」などの装丁に関する版表示は VOL フィールドに記録する。)</p>		
<p>③ PUB(=Publication, Distribution, etc., Area : 出版・頒布等に関する事項)</p> <p>出版・頒布等に関する事項を記録する。</p> <p>[日本目録規則1987年版改訂版の区切り記号の採否]</p> <p>1.4.0.2 (区切り記号法) は、ア)、オ)、カ)、ク) を除いて採用する。</p> <p>ア) のフィールド間の区切り記号については不採用とする。</p> <p>オ) の出版年・頒布等の前に置く区切り記号については、コンマ、スペース (,)、△) ではなく、スペース、コンマ、スペース (△,) を置く。(△ → △,△)</p> <p>カ) の製作項目 (製作地、製作者、製作年) は、出版・頒布に関するデータ要素とは別に、PUBフィールドを繰り返したうえで丸括弧に入れて記録し、丸括弧の前にはスペースは置かない。</p> <p>(△ () → ())</p> <p>ク) 製作年の前に置く区切り記号については、コンマ、スペース (,)、△) ではなく、スペース、コンマ、スペース (△,) を置く。(△ → △,△)</p>	M	M
<p>③-a 出版地・頒布地等</p>	A	A
<p> 最初の出版地・頒布地等</p>	M	M
<p> 2 番目以降の出版地・頒布地等</p>	O	O
<p>③-b 出版者・頒布者等</p>	A	A
<p> 最初の出版者・頒布者等</p>	M	M
<p> 2 番目以降の出版者・頒布者等</p>	O	O
<p>③-c 出版・頒布等の日付</p>	A	O
<p> 最初の日付</p>	M	M
<p> 2 番目以降の日付</p>	O	O
<p>③-d 製作等に関する事項</p>	O	O
<p> 製作地等</p>	O	O
<p> 製作者等</p>	O	O
<p> 製作等の日付</p>	O	O
<p>→ 最初の出版地△ : △最初の出版者△, △最初の出版年 (月)</p>		

コンピュータを用いた資料組織演習の授業展開とその評価

<p>(出版年・頒布年等については、月まで記録することができる。「月」の記録は選択事項である。) → PUB:東京:日本図書館協会, 1991.5</p>		
<p>④ PHYS(=Physical Description Area:形態に関する事項) 目録対象資料の数量(ページ数、図版数等)、その他の形態的細目(挿図、肖像、地図等)、大きさ、及び付属資料等の情報を記録する。 [日本目録規則1987年版改訂版の区切り記号の採否] 1.5.0.2(区切り記号法)は、これを採用する。ただし、ア)のフィールド間の区切り記号については不採用とする。 ④-a 数量 ④-b その他の形態的細目 ④-c 大きさ ④-d 付属資料 → 前ページ, △本ページ, △後ページ△:△挿図△;△大きさ△+△ 付随資料 → PHYS:8, 223p:挿図(13図);19cm + CD-ROM3枚</p>	<p>A A O O O O</p>	<p>O O O O</p>
<p>⑤ VT(=Variant Titles:その他のタイトル) 記述対象資料に関するタイトルのうち、TRフィールドに記録されないタイトルの形、又はTRフィールドに記録されたタイトルの異形を記録することができる。VTフィールドの設定は、タイトルごとに行う。 ⑤-a タイトルの種類 (タイトルの種類は、コード化して記録する。 原タイトル:OR 奥付タイトル:CL 表紙タイトル:CV 異なりアクセスタイトル:VT その他のタイトル:OH 等) → 付録1.4タイトルの種類コード表参照のこと。 ⑤-b タイトル ⑤-c タイトルのヨミ → タイトルの種類コード:タイトル タイトルのヨミ → TR:文化の使徒:公共図書館・女性・アメリカ社会 1876-1920年 / ディー・ギャリソン著;田口瑛子訳 ブ'ソカノ'シト:コウキョウト'シヨカン'ジ'ヨセイ'アメリカ'シヤカイ 1876-1920ネン VT:OR:Apostles of culture: the public librarian and American society, 1876-1920 → TR:大学への期待:日本教育の課題 / 木田宏著 ダ'イガク'エノ'キタイ:ニホン'キョウイク'ノ'カダ'イ VT:CV:Japan's higher education for 21st century</p>	<p>O M M A A</p>	<p>O M M A A</p>
<p>⑥ CW(=Contents of Works:内容著作注記) 記述対象資料の構成部分となっている著作単位について、巻冊次、タイトル、責任表示及びタイトルのヨミを記録することができる。 CWフィールドの設定は、著作単位ごとに行う。 ⑥-a 巻冊次等</p>	<p>O A</p>	<p>O A</p>

<p>⑥-b タイトル ⑥-c 責任表示 ⑥-d タイトルのヨミ</p> <p>→ 巻冊次: △内容著作注記のタイトル△/△内容著作注記の責任表示 内容著作注記のタイトルのヨミ</p> <p>→ VOL:1 VOL:2 VOL:3 TR: 印度の仏教 / 中村元 [ほか] 編 インド ノ ブツキョウ PHYS: 3冊; 22cm CW: 1. 原始仏教思想論 / 木村泰賢著 ゲンソク ブツキョウ ショウロン CW: 根本仏教 / 柿崎正治著 コンボク ブツキョウ CW: 2: 「印度哲学研究」諸編 / 宇井伯寿著 「インド テツガク ケンキョウ」ノ ショヘン CW: 小乗仏教思想論 / 木村泰賢著 ショウジュウ ブツキョウ ショウロン CW: 3: 般若思想史 / 山口益著 ハンニヤ ショウシ CW: 仏教小史 / 藤井正著 ブツキョウ ショウシ CW: 仏陀時代 / 増谷文雄著 ブツダ ジダイ</p>	<p>M O A</p>	<p>M O A</p>
<p>⑦ NOTE(=Note: 注記)</p> <p>記述対象資料に関する注記を記録する。NOTE フィールドの設定は、注記ごとに行う。導入語句を伴う定型注記とそれ以外の注記とがあるが、定型注記の場合、導入語句と注記との間にはコロン、スペース(:△)を置く。</p> <p>[日本目録規則1987年版改訂版の区切り記号の採否]</p> <p>1.7.0.2 (区切り記号法) のア) は、一つのデータ要素ごとにフィールドを繰り返して記録するので、区切り記号は用いない。ただし、一つのNOTE フィールド中に複数のデータ要素を記録する必要がある場合は、この区切り記号法を採用する。イ) は採用する。</p> <p>→ 導入語: △</p> <p>→ NOTE: 各参加館の事例報告: p95-98 → TR: 辞林21 / 三省堂編修所編 ジリン 21 NOTE: 監修: 松村明, 佐和隆光, 養老孟司</p> <p>[日本目録規則1987年版改訂版で示されている注記項目のうち、別の取扱いをするもの]</p> <p>2.7.3.1 (タイトルに関する注記) にあるア) の後半の「記録しなかった他のタイトル」については、VTフィールドの適切なコードを付してそれを記録する。なお、「OH:」を付して記録した場合は、情報源は必ず注記する。</p> <p>ウ) の翻訳書の原タイトルは、VTフィールドに原書名コード「OR:」を付して記録する。</p>	<p>O</p>	<p>O</p>

2.7.3.7 (内容に関する注記) にあるア) の内容細目は CW フィールドに記録し、「内容：△内容著作注記のタイトル△/△内容著作注記の責任表示」といった形での注記は行わない。		
---	--	--

3) リンクブロック (PTBL~UTL)

PTBL:	図書館員選書 ソコカノ センヨ <BN07632755>
AL:	上田, 修一 ワダ, シウイチ <>
UTL:	

画面項目名 (データ要素) データ記入及び表示例	入力レベル	
	子書誌	親書誌
① PTBL(=Parent Bibliography Link: 書誌構造リンク) 書誌構造における上位の書誌単位 (親書誌) のタイトル等を記録する。 PTBL フィールドの設定は、書誌構造ごとに行う。	A	U
①-a リンク先親書誌レコード TR 情報	S	U
①-b リンク先親書誌レコード ID 親書誌レコードとのリンク形成を行うと、リンク先親書誌レコードの TR 情報と ID が自動的に表示される。	S	U
①-c その他の情報 「その他の情報」には、親書誌の番号等を記録する。また、書誌構造が 3 階層以上になる場合には、親書誌の番号等及び、中位の書誌単位のタイトル、責任表示、タイトルのヨミ、番号等を上位から順に記録する。	A	U
①-d 構造の種類 構造の種類はコード化して記録する。(登録時に指定がない場合は、構造の種類コードは a が自動付与される。) シリーズ: a セットもの: b → 付録1.7構造の種類コード表参照のこと。	O	U
→ 親書誌タイトル△/△責任表示 親書誌タイトルのヨミ△<親書誌レコードID>△親書誌の番号等/構造の種類		
→ PTBL: スウェン・ヘディン探検記 / スウェン・ヘディン〔著〕 スウェン・ヘディン探検記 <BN01418628> 1-2/b		
→ PTBL: ラテンアメリカの文学 / 綜合社編 ラテンアメリカの文学 <BN00037141> 1/b		
→ VOL: 上		
VOL: 下		

TR:江戸の本屋 / 鈴木敏夫著 エド / ノホン		
PTBL:中公新書 ナツコウ シンショ <BN00119290> 568, 571/a		
② AL(=Author Link: 著者名リンク)	A	A
記述対象資料の著者標目を記録する。ALフィールドの設定は、著者標目の数だけ行う。ただし、記述ブロック、またはPTBLフィールドに記録されていない個人、団体、会議の名称に対し、ALフィールドを作成してはならない。		
<1. リンク形成を行う場合>		
②-1-a 主記入フラグ	O	O
基本記入の標目については、主記入フラグとして「*」を記入することができる。		
②-1-b リンク先著者名典拠レコードHDNG情報	S	S
②-1-c リンク先著者名典拠レコードID	S	S
著者名典拠レコードとの間にリンク形成を行った場合は、リンク先著者名典拠レコードのHDNG情報とIDが自動的に表示される。		
②-1-d その他の情報	A	A
著者標目が会議である場合、「その他の情報」には副次的要素である回次、開催年、及び開催地を記録する。		
→ リンク先著者名典拠レコードHDNG情報△<リンク先著者名典拠レコードID>△その他の情報		
→ TR:リーマン幾何学:ビギナーズ・ガイド/フランク・モーガン著;時田節訳 リマン キカク : ビギナーズ ガイド		
AL: *Morgan, Frank <DA022263113>		
AL: 時田, 節 トキタ, タク <DA05845352>		
→ TR:セボフルレン:第34回日本麻酔学会総会シンポジウム(1987年4月)/稲田豊編集 セボフルレン : ダイ34カイ ニホン マスイガ ッカイ ソウカイ シンポジウム 1987 ネン 4ガツ		
AL: 日本麻酔学会総会 ニホン マスイガ ッカイ ソウカイ <DA02416225> (第34回:1987:東京)		
→ AL:横川, 文雄(1918-) ヨコガワ, フミオ <DA00169136>		
AL: Hedin, Sven Anders, 1865-1952 <DA00178319>		
<2. リンク形成を行わない場合>		
リンク形成を行わない場合は、著者標目を構成する著者名情報を記録する。ただし、著者標目が会議である場合、「その他の情報」に副次的要素である回次、開催年、及び開催地を記録する。		
②-2-a 主記入フラグ	O	O
②-2-b 著者標目形	M	M
②-2-c リンク先著者名典拠レコードID	U	U
②-2-d その他の情報	A	A

コンピュータを用いた資料組織演習の授業展開とその評価

<p>→ 姓, △名 姓のヨミ, △名のヨミ △〈〉△その他の情報 (著者標目形) (著者標目形のヨミ) → TR: 位相幾何学 / 河田敬義 イウ キガク AL: 河田, 敬義(1961-) カガ, キョウ < ></p>		
<p>③ UTL(=Uniform Title Link: 統一書名リンク) 記述対象資料の統一タイトル標目を記録する。UTL フィールドの設定は統一タイトル標目の数だけ行う。 <1. リンク形成を行う場合> ③-1-a 主記入フラグ 基本記入の標目については、主記入フラグとして「*」を記入することができる。 ③-1-b リンク先統一書名典拠レコード HDNG 情報 ③-1-c リンク先統一タイトル典拠レコード ID 統一書名典拠レコードとの間にリンク形成を行った場合は、リンク先統一書名典拠レコードの HDNG 情報と ID が自動的に表示される。 ③-1-d その他の情報 「その他の情報」には、副次的要素である言語、版、刊年等を記録する。 → リンク先統一タイトル典拠レコード HDNG 情報 △ 〈リンク先統一タイトル典拠レコード ID〉 △ その他の情報 → UTL: 竹取物語 竹取モガリ < EA00008747 ></p>	A	A
<p><2. リンク形成を行わない場合> リンク形成を行わない場合は、統一タイトル標目を構成する統一タイトル情報を記録する。ただし、副次的要素である言語、版、刊年等は「その他の情報」に記録する。 ③-2-a 主記入フラグ ③-2-b 統一タイトル標目形 ③-2-c リンク先統一書名典拠レコード ID ③-2-d その他の情報 → 統一タイトル標目形 統一タイトル標目形のヨミ △ 〈 > △ その他の情報 → UTL: 竹取物語 竹取モガリ < ></p>	O S S A O M U A	O S S A O M U A

4) 主題ブロック (CLS~REM)

CLS:	_____
SH:	_____
REM:	_____

画面項目名 (データ要素) データ記入及び表示例	入力レベル	
	子書誌	親書誌
<p>① CLS(=Classification : 分類)</p> <p>記述対象資料の分類標目を記録することができる。CLS フィールドの設定は、分類標目の数だけ行う。</p> <p>①- a 分類表の種類 使用する分類表は標準的なものとし、その種類をコード化して記録する。 → 日本十進分類法第9版 : NDC9 国立国会図書館分類表 : NDLC 等。</p> <p>①- b 分類記号 → 分類表の種類 : 分類 → CLS : NDC9 : 010.8 → CLS : NDLC : UL5</p>	O	O
<p>② SH(=Subject Headings : 件名等)</p> <p>記述対象資料の件名標目又はディスクリプタ (統制語) 等を記録することができる。SH フィールドの設定は、件名標目等の数だけ行う。</p> <p>②- a 件名標目表の種類 使用する件名標目表、シソーラス等は標準的なものとし、その種類をコード化して記録する。(付録1.5主題関係のコード表参照) → 基本件名標目表第3版 : BSH または BSH3 基本件名標目表第4版 : BSH4 国立国会図書館件名標目表 : NDLSH 米国議会図書館件名標目表 : LCSH 等。</p> <p>②- b 件名</p> <p>②- c 件名のヨミ 件名のヨミについては分ち書きを行わない。</p> <p>②- d 細目 細目が後続することを示す区切り記号は、スペース、ハイフン、ハイフン、スペース(△--△)を用いる。</p> <p>②- e 細目のヨミ</p> <p>②- f 件名の種類 件名の種類はコード化して記録することができる。 人名件名(個人名) : A 普通件名 : K 等。 ただし、新規入力において(及びSHフィールド追加時)は、件名の種類コード表に掲載されているコードのうち、E、G、L、Mは不使用コードとし、矢印の右側のコードを使用する。 E(地名件名) G(地理的名称:転置形) → F(地理的名称)、 L(個人名以外の件名) → B、C、D、F、H、J、又はK、 M(統一タイトル) → D(統一タイトル)のコードを使用する。 → 付録1.5主題関係のコード表参照</p>	O	O

コンピュータを用いた資料組織演習の授業展開とその評価

→ 件名欄目表の種類：件名 件名のヨミ / 件名の種類 → SH : BSH : 図書目録法 トソモロヨリ/K 件名が細目を伴う場合は、 → SH : NDLSH : 図書館 -- アメリカ合衆国 -- 歴史 トソオソ -- 71 リカ ヲソカカ -- レソ/K		
③ REM(=Remainder of MARC Record (参照ファイルで表示) : 非転写フィールド) MARCからの変換時に他のどのフィールドにも格納されなかったデータ(タグ、サブフィールド識別子等を含む)が、そのままの形で表示される。(参照レコードのみ)	S	S

4-2 NACIS-CAT フィールド名 (図書所蔵レコード)

LOC:	本館
VOL:	CLN: WT0010 CPYR:
OPNT:	
IDF:	
LIR:	

画面項目名 (データ要素) 内容及び記述規則概要	入力レベル
① LOC(=Location Code : 配置コード) 所蔵する資料の配置場所等を示すもので、あらかじめ目録システムに申請・登録されたコードを記録する。 → 配置コード → LOC : 本館	A
② VOL(=Volumes : 巻冊次等) 図書書誌レコードの巻次等 (VOL) に対応して実際に所蔵している物理単位を記録する。 ②-a 巻次等 ②-b 説明語句	A A
③ CLN(=Call Number : 請求記号) 物理単位に対応する請求記号を記録することができる。請求記号を構成する分類記号、著者記号、巻次記号、複本記号等は、「 」で区切ることを原則とする。 → 分類番号 著者記号 巻次記号 → VOL : 第1巻 CLN : 289.1 Hu 1 VOL : 第2巻 CLN : 289.1 Hu 2	O
④ RGTN(=Registration Number : 登録番号)	O

物理単位に対応する登録番号を記録することができる。 → 登録番号 → RGTN: WT0010	
⑤ CPYR(=Publication Year of Copy : 刷の出版年) 刷の相違等の理由により、図書書誌レコードの出版年 (PUB) と参加組織等の所蔵する現物 (コピー) の出版年が異なる場合に、現物の出版年または著作権表示年をアラビア数字で記録することができる。 → コピーの出版年 → CPYR: 1988 → CPYR: c1988 (著作権表示年の場合は先頭に「c」を記録する)	○
⑥ CPYNT(=Note for Copy : 刷の注記) 劣化資料、署名入り資料等、記述対象特定コピーの特異性に関する注記を記録することができる。	○
⑦ LDF(=Local Definition Field : 図書館定義フィールド) 物理単位にかかわる各種の情報を記録することができる。記述規則等は、各参加組織が自由に定めてよい。	○
⑧ LTR(=Local Tracing : ローカルトレーシング) 書誌レコードに記録される標準的な標目以外に、各参加組織が必要とする独自の標目を記録することができる。	○

5. 演習上のトラブルと留意点

演習時間中に発生したトラブルと留意点をまとめておくことにする。

1) 保存と確認

誤操作によるシステムトラブルにより、作成済の書誌データを保存できなかったケースが何件も発生した。一つの課題の所蔵登録が完了し SAVE したら一件ごと各自のフロッピーディスクに保存させると共に、目録出力機能を使ってタイトルでソートをかけさせ、保存されているかの確認を行わせることが大切である。

①所蔵登録画面で [Save] →②和図書書誌検索・簡略表示画面で [Giveup] →③業務選択画面で [99. 業務終了] →④初期画面で [個人データの保存] を行い、書誌データを保存する。／⑦初期画面で [基礎演習] →⑧業務選択画面で [和図書目録出力] →⑨和図書目録出力画面で [Sort t] を行い、登録済書誌を確認する。／⑩和図書目録出力画面で [Return]

→⑪業務選択画面で〔和図書目録登録〕を選択し、次の課題に取りかかる。

2) 修正・編集

演習科目の場合、講義科目と違って受講生の進度に差が出る。特に、コンピュータを用いた演習においては、コンピュータリテラシーの程度差により顕著であると言える。余裕のある受講生に対しては予備の課題を用意すると共に、到達目標に達せず課題が終了していない受講生に対しては途中でも一度登録し、のちに空き時間を使って次回までに作成しておくよう事前指導することも必要である。

和図書所蔵新規入力画面で書誌データを入力中、授業終了の時間が来てしまって途中で終えなければならないような場合には、①未入力項目のフィールドに何か文字（例えば1でもよい）を入れておいて〔Save〕→②和図書書誌検索・簡略表示画面で〔Giveup〕→③業務選択画面で〔99. 業務終了〕→④初期画面で〔個人データの保存〕→⑤〔終了〕を選択後、コンピュータの電源を落とし一旦終了する。／⑥コンピュータを立ち上げ、初期画面で〔個人データのロード〕→⑦〔基礎演習〕→⑧業務選択画面で〔和図書目録登録〕→⑨和図書書誌検索・簡略表示画面で修正したい書誌を検索する（中途の書誌が何だかわからない場合には、「1）保存と確認」の⑦～⑨を行い登録済書誌を確認する）。／⑩和図書書誌詳細画面で〔Edit〕→⑪未入力項目のフィールドに正確な書誌データを修正入力し〔Register〕→⑫和図書所蔵修正画面で修正し〔Save〕することにより修正・編集が可能である。

3) 区切り記号法における記号とスペース

全ての入力項目において、カタカナ、アルファベット、数字等は日本語入力モードでの全角入力が可能であるが、区切り記号法に用いられる記号とスペースは直接入力モードでの半角入力が基本である。

書誌入力画面で全角入力されたカタカナ、アルファベット、数字等は書誌詳細表示画面ではシステムにより自動的に半角表示されるが、区切り記

号法に用いられる記号やスペースをも全角入力したまま所蔵入力画面で [Save] コマンドを実行すると、システムエラーが発生し「不正な処理」ということでアプリケーションソフトが閉じられてしまうことがある。 [Save] コマンド実行前であれば、①所蔵新規入力画面で [Save] コマンドを実行せずに [Return] コマンドで書誌流用入力画面に戻り、②再び [Register] コマンドで所蔵登録を行うことによりシステムエラーは回避できるが、ISBD 区切り記号法に用いられる記号とスペースは直接入力モードで半角入力するよう指導したい。

4) 親書誌とのリンク

リンクブロックの PTBL (=Parent Bibliography Link : 書誌構造リンク) で「図書館員選書△〈〉」とする際、△ (スペース) と〈〉は半角入力されていなければ、Linkto Parent コマンドを実行すると和図書書誌検索・簡略表示画面に戻り、「指定された検索条件での検索結果は 0 件です」というメッセージが表示される。この場合、AL (=Author Link : 著者名リンク) での場合も同様であるが、Create コマンドを実行し和図書書誌新規入力画面に戻り、書誌データの再入力を行わなければならなくなるので事前によく注意しておく必要がある。

NC 書誌の作成にあたっては、書誌ユーティリティのデータベースの品質保持のためにどの場面においても正しく入力されているかどうかの再確認は必要であるが、演習システムとしては書誌入力画面に戻り途中まで完成されている書誌データを活用できるといった物理画面を 1 つ戻るワンステップがあっても良いように思われる。

5) 重複データの削除

受講生が演習を行っている際に、誤って同じ書誌レコードを作成してしまったというケースはよくあることである。重複データの削除機能は BIBLAS Ver.2.0 から正式にサポートされている。

手順としては、①目録出力画面で [Sort t] コマンドを実行し削除した

い書誌レコードを見つける。②検索・簡略表示画面で削除対象書誌レコードを検索する（NC書誌が複数表示された場合には該当書誌レコードをダブルクリックする）。③ [Edit] コマンドを実行すると書誌修正画面に移行するので全ての項目のデータを1文字1スペースもない状態に消去する（この際、TABキーで項目を移動し、Deleteキーを押すと便利である）。④「TR フィールド」に「削除予定レコード」という文字列を入力する。⑤ [Save] コマンドを実行してデータを保存すると、該当書誌レコードを消去することができる。その際、同一書誌レコードIDで複数件作成されているような場合には1件削除するとすべて削除されてしまうことになるが、⑥検索・簡略表示画面で該当書誌を再び検索し、所蔵登録し直すことにより1件のみの登録状態にすることができる。

しかし、⑥を行わなかったが為に該当書誌が存在しない状態であったり、④のところで「TR フィールド」に「削除予定レコード」と入れ忘れたが為に各項目のデータは消去できても書誌レコードIDは存在しているということも起こった。書誌レコードIDのみが存在しているような場合には、①書誌検索・簡略表示画面で「TR フィールド」に全角スペース2つ以上を入力し検索すると登録されているNC書誌すべてを表示することができるので①～⑤を行えば削除可能ではあるが、指導上多くの注意を要した点であり、重複データの削除に関しては指導者側の対処事項とすべきであろう。

6. おわりに

BIBLAS for Windows CD-ROM版を使用しての目録演習実施例、及び演習上の留意点を示した。演習システム Biblas には矢印キーを押すだけで操作可能な演習指導者用揭示モード版も用意されているが、受講者のコンピュータリテラシーの程度差により一斉に演習を進めるのには難があり補助的利用が妥当であろう。本稿で示したような手順書を用意し、演習の

始めに演習内容の要点（関連する目録規則、操作やコマンドの解説など）を30分程度説明した後、受講者各自のペースで進めさせ、個別指導して廻るのが効果的であると思われる。また、演習時間内に課題を終えられなかったり、何らかの理由でやむを得ず講義を欠席した受講者に対して、次回までに各自補わせておくことも必要であり、手順書は欠かせないと言える。

図6-1はコンピュータを利用した「資料組織演習（目録）」の理想的な開講時期を示したものである。

授業運営としては理論科目の修業後に演習科目が配当されるのは通常のことであるが、その演習にコンピュータを用いるのであれば、情報処理関

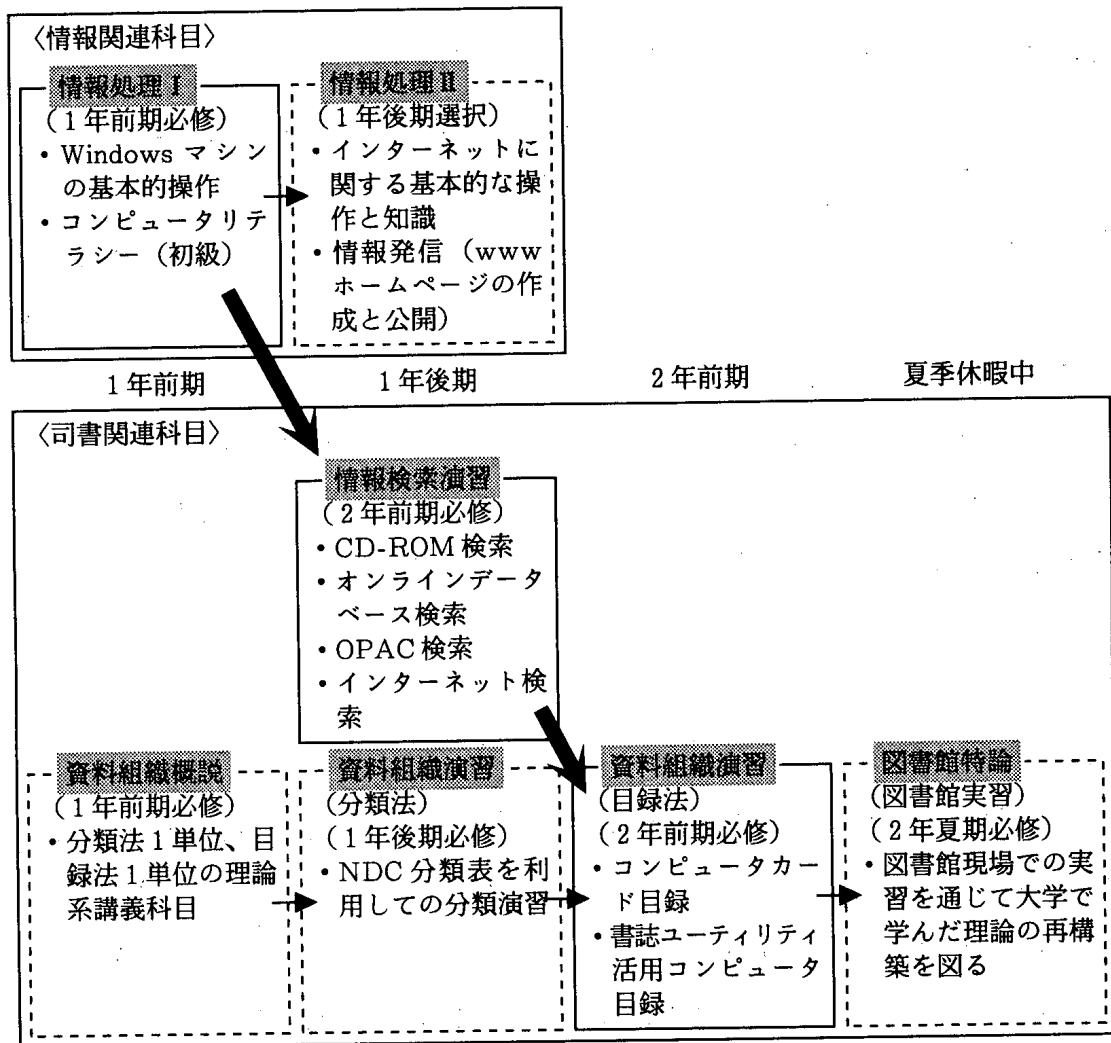


図6-1 目録演習の理想的な位置づけ

連科目を司書課程科目受講の前提とすることにより Windows マシンの基本操作を習得させておくことは演習を円滑に進行させる上で有効な方策である。また、今回取りあげたような書誌ユーティリティを活用しての目録演習を行うにあたっては、重複書誌や重複典拠を防ぐための検索を徹底することが前提となっており、検索理論をもよく理解した上で行った方がより学習効果が期待できるものと言える。

近年、コンピュータを授業に取り入れる科目が増えてきており、コンピュータ室の稼働率は非常に高い。司書課程科目のみを前提に理想の形を展開することは難しいと言えようが、図6-1のように「情報処理Ⅰ」→「情報検索演習」→「資料組織演習(目録)」→「図書館実習」といった一連の流れに資料組織演習(目録)を位置づけることによりさらなる効果が期待できるものと思われる。

注

- 1) NACSIS-CAT は学術情報センターの目録システムで、1984年、東京工業大学と学術情報センターとの接続を皮切りに、わが国初の全国的なオンライン共同分担目録システムとして開発され、最新の目録規則であるNCR1987年版改訂版で規定された書誌単位の日録規則を基板として総合目録データベースの構築を図っている。
- 2) 学術情報センターの総合目録所在情報システム(NACSIS-CAT)の機能をパーソナルコンピュータ上で実現し、疑似的に書誌ユーティリティでの目録作成を演習できるように考えられたM.B.A社作成のソフトウェア。
- 3) ISBD (=International Standard Bibliographic Description : 国際標準書誌記述) 区切り記号法は、『日本目録規則1987年版』から本則に採用されており、書誌情報の交換をスムーズに行って、国際的な書誌情報の流通を促進することが可能となると共に、記号の後に続くそれぞれの書誌的事項が何であるかを指示することが可能となり、資料の同定・識別および書誌情報の理解を容易にしている。
- 4) 「日本目録規則1987年版改訂版」では、ア) タイトルと責任表示に関する事項、イ) 版に関する事項、ウ) 資料(または刊行形式)の特性に関する事項、エ) 出版・

頒布等に関する事項、オ) 形態に関する事項、カ) シリーズに関する事項、キ) 注記に関する事項、ク) 標準番号, 入手条件に関する事項、の8つの事項を規定している。

- 5) NC 書誌とは NACSIS-CAT で作成された総合目録 (Union Catalog) の書誌のことである。このシステムでは参照 MARC として① JP 書誌 (国立国会図書館 (NDL) が作成した日本全国書誌 (JAPAN/MARC) の和図書書誌)、② TRC 書誌 (図書館流通センター (TRC) が作成した (TRC MARC) の和図書書誌)、③ US 書誌 (米国議会図書館 (LC) が作成した USMARC (books) の洋図書書誌)、④ UK 書誌 (英国図書館 (BL) が作成した UK MARC の洋図書書誌) が用意されている。

参考文献

- (1) 北 克一著『資料組織演習－書誌ユーティリティ、コンピュータ目録－』M. B. A., 1998, 194p.
- (2) 北 克一著『資料組織演習－書誌ユーティリティ、コンピュータ目録－ (図書館とメディア・1)』改訂新版, M. B. A., 2000, 238p.
- (3) 志保田務, 高鷲忠美共著『資料組織法』第3版, 第一法規, 1997, 313p.
- (4) 吉田憲一編著『資料組織演習 (JLA 図書館情報学テキストシリーズ・10)』日本図書館協会, 1998, 270p.
- (5) 柴田正美著『資料組織概説 (JLA 図書館情報学テキストシリーズ・9)』日本図書館協会, 1998, 264p.
- (6) 文部省学術情報センター編『目録システムコーディングマニュアル1・2』文部省学術情報センター, 1988
- (7) 河村芳行著『ワークブック資料組織演習 I (目録法)－コンピュータ目録と書誌ユーティリティの活用－』北海道武蔵女子短期大学, 2000, 121p.
- (8) 北 克一, 志保田務, 高鷲忠美「省令科目資料組織演習におけるコンピュータ目録演習環境の構築－司書課程レベルをもとに－」『整理技術研究』Vol. 39, 1998, p. 17-29
- (9) 北 克一, 志保田務, 高鷲忠美「資料組織演習 : コンピュータ目録演習課題の自動提示機能の展開」『整理技術研究』Vol. 40, 1998, p. 11-22
- (10) 文部省学術情報センター「目録情報の基準第3版」
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/KIJUN3/kijun3.mokuji.html>
- (11) 文部省学術情報センター「目録システムコーディングマニュアル」
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/CM/mokuji.html>